



なんたん市議会だより

かけはし

No.75 / 2024.11



Contents

- 『頑張る人たち』訪問
美山民謡会
- 9月議会ではこんなことが決まりました
- 常任委員会ではこんな議論になりました
- 決算特別委員会で令和5年度の決算審査
を行いました

「美山民謡会」の皆さん

後列左から、南條康廣さん、南條敏子さん、桂ひさ子さん
出野みゆきさん、岸田義則さん、片山恵子さん、桂隆雄さん
中西文雄さん、上澤秀春さん、加藤久雄さん、羽口喜久さん

訪 問 『頑張る人たち』

美山民謡会

代 表 なんじょう 南 條 としこ 敏子さん
かとう 加藤 ひさお 久雄さん
なんじょう 南 條 やすひろ 康廣さん
かつら 桂 たかお 隆雄さん
はぐち 羽口 よしひさ 喜久さん
きしだ 岸田 よしのり 義則さん
うえさわ 上澤 ひではる 秀春さん
なかにし 中西 ぶんゆう 文雄さん
かつら 桂 こ ひさ子さん
かたやま 片山 けいこ 恵子さん
いでの 出野みゆきさん

平成20年4月に「美山民謡会」として
 発足以来16年、三味線・尺八・太鼓・
 鉦・鈴などの生伴奏で日本各地の民謡
 を演奏。一緒に唄ったり踊ったり、皆さ
 まとの楽しいひと時を共有される「美山
 民謡会」さんをお訪ねしました。



人の和（輪）、つながりを大切に、聴衆の皆さまに喜んでいただきたい
 お腹の底からの発声は健康増進の源、「楽しく・元気よく・ポジティブ」に

どのような活動をされていますか

地域のサロンや敬老会、施設訪問、各種
 イベント等の催しに積極的に参加し、三味
 線・尺八・太鼓・鉦・鈴などの生伴奏により
 日本各地の民謡を演奏し、一緒に唄ったり
 踊ったりして皆さまとの楽しいひと時を共有
 しています。最近では北欧のヨアール・サクソ
 フォン・カルテットの演奏会において民謡演
 奏とのコラボレーションを行い、音楽による

楽しい国際交流ができました。また、毎月2
 回定例練習をしています。

活動を始められたきっかけは

旧美山町時代に生涯学習の一環として民
 謡講座を開講したのが始まりで、その後、平
 成20年4月に「美山民謡会」として再発足以
 来、16年経過し、今日に至っています。

「民謡は心のふるさと」と言われている
 ように、日本各地の庶民の日常生活の中から

生まれ唄われてきたものであり、その素朴な
 曲調の歌謡が歌いたくて歌好き仲間が集ま
 り、現在11名が活動しています。

今後の展望をお聞かせください

人の和（輪）、人のつながりを大切にし、
 聞いてくださる皆さまに喜んでいただき、い
 つまでも心に残る民謡が歌えるよう練習に励
 みたいと思います。

お腹の底からの発声は健康増進の源でもあ

り、「楽しく・元気よく・ポジティブ」に行
 動範囲も広げつつ活動を続けていきたいと思
 います。

南丹市のまちづくりについて、どう思われますか

人口減少・高齢化が進行し、地域の活力
 が低下する中において、特に地域福祉と医療
 を充実し、すべての人が将来にわたって安心
 して暮らせる住みよいまちづくりをお願いします。

南丹市や議会に望むことは

少子高齢化に伴う人口減少への対応、地域
 の活性化等の課題が山積し、また市財政も厳
 しい状況にあると聞いています。当地域にお
 ける文化活動の発信拠点である美山文化ホー
 ルは老朽化に伴い、空調設備などが故障し、
 修繕が不可能な状態となっており、活動時の
 使用に支障を来しています。今日まで継続し
 てきた文化活動を衰退させないためにも地域
 事情にあった代替施設の設置を望みます。

（取材者／河野・小中）

全会計の決算を認定

一般会計 支出総額247億 3949万円

黒字決算

こんな事業に使われました

スクールバスの運行や美山中学校・殿田中学校の改修、八木せきれい西放課後児童クラブの建設など



改修された殿田中学校



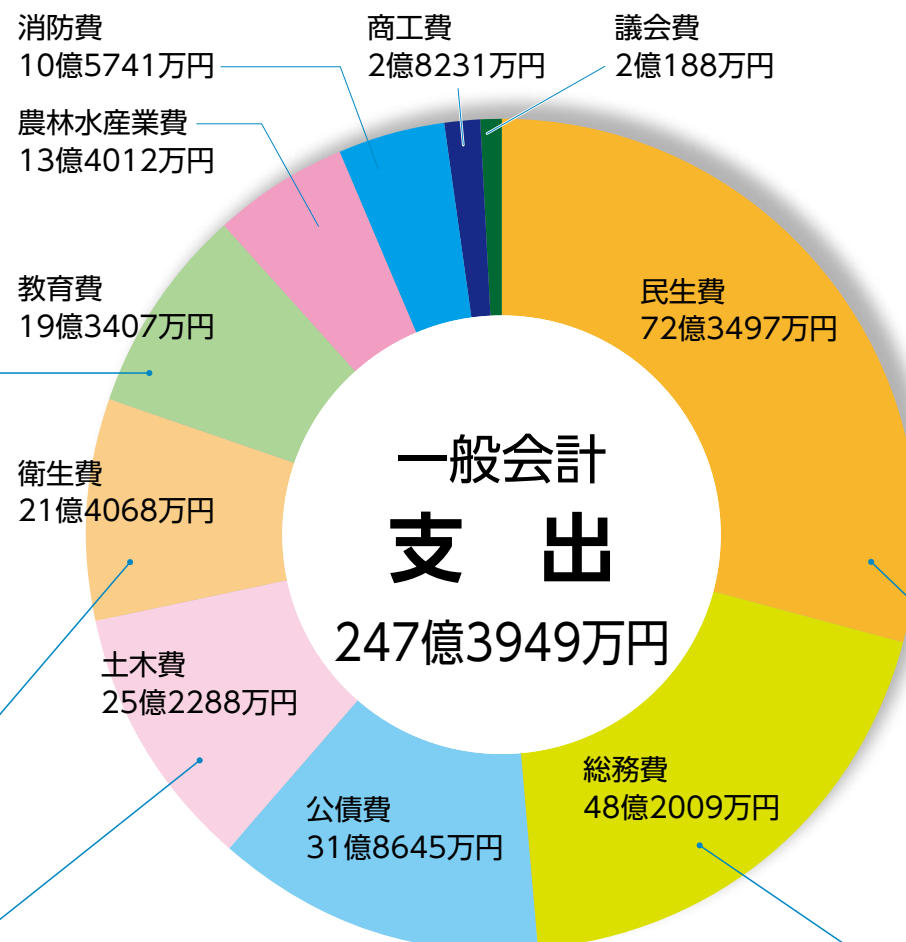
子育てを応援する「はぐくみファイル」

健幸ポイント事業、出産子育て応援交付金事業など

道路橋梁維持や八木駅西土地区画整理、市営住宅小桜団地屋根改修工事など



改修された市営小桜団地



9月定例会は、8月27日に開会し、44日間の会期を終えて10月9日に閉会しました。

今定例会には、条例関係6件、補正予算5件、決算関係8件など全部で27件の議案が提出され、常任委員会や決算特別委員会に付託して審査したのち、本会議で採決を行いました。結果、議員提案の議案を除き、原案どおり可決・認定等しました。ここでは、決算の概要をお知らせします。



子ども家庭サポートセンター「Ruri」

高齢者福祉事業、子ども家庭センター「Ruri」の運営など



新しくなった神吉区自治振興会館

新庁舎の建設、神吉区自治振興会館の建設など

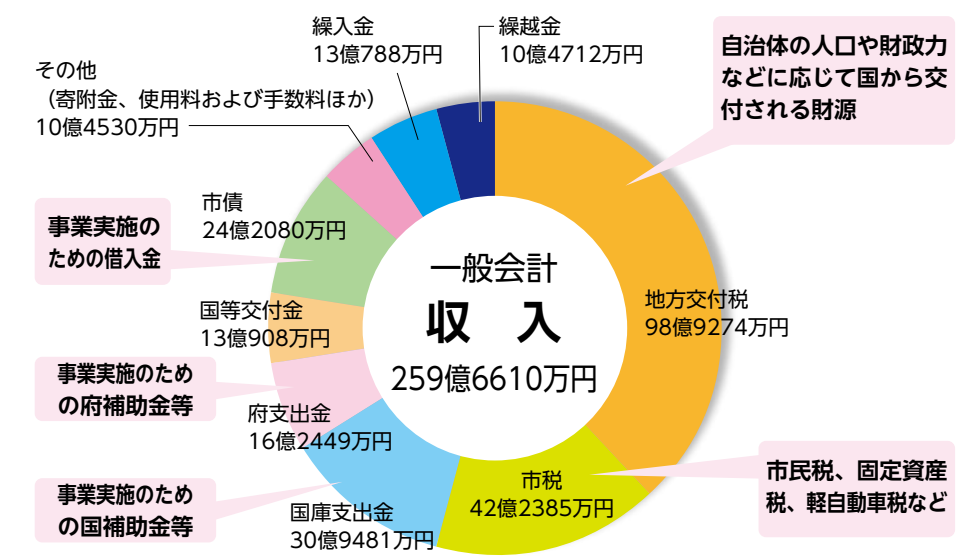
会計別決算額の状況

会計	収入 A	支出 B	差引 A-B=C	翌年度繰越額 D	実質収支 C-D
一般会計	259億6610万円	247億3949万円	12億2660万円	1億1246万円	11億1413万円
特別会計					
国民健康保険(事業勘定)	34億7909万円	34億3068万円	4840万円	0	4840万円
国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億6442万円	1億6442万円	0	0	0
介護保険	44億3372万円	42億7312万円	1億6060万円	0	1億6060万円
土地取得	6万円	6万円	0	0	0
後期高齢者医療	5億8547万円	5億7409万円	1137万円	0	1137万円
合計	346億2889万円	331億8189万円	14億4699万円	1億1246万円	13億3453万円

※1万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがあります。

区分	収入 A	支出 B	差引 A-B=C	翌年度繰越額 D	損益計算による当年度純利益(税抜き)
水道	9億9443万円	9億9704万円	△260万円		△1103万円
下水道	3億5294万円	7億634万円	△3億5339万円		
収益的収支	25億4087万円	23億5329万円	1億8787万円		1億8442万円
資本的収支	9億5031万円	18億8713万円	△9億3682万円		

(消費税込み)



一般会計および各特別会計の決算総額は、歳入(収入)346億2889万3367円、歳出(支出)331億8189万4959円で、収入から支出を差引いた形式収支額は、14億4699万8408円。このうち、翌年度に繰り越すべき財源1億1246万7000円を差し引いた実質収支額は、13億3453万1408円の黒字決算です。

決算特別委員会では、こんな議論になりました



決算特別委員会とは？

一般会計、特別会計、企業会計の決算を審査するために設置される特別委員会のことです。

決算特別委員会では、3つの常任委員会と同じ構成で分科会を設け、詳しく審査します。ここでは、その概要をお知らせします。

9月19日に本委員会全体会を開催し、会計管理者から決算概要の説明を受けた後、9月20日から、総務・文教厚生・産業建設の各分科会で審査を実施しました。各担当部から事業の実施概要や決算額、事業効果、財源の確保や予算との整合性などについて説明を受けました。

主な質疑は、経常収支比率の上昇した要因や今後の見通し、健康づくり推進事業の効果、介護人材確保・定着支援事業の対象者がなかった要因、南丹ブランド推進事業の概要、野生鳥獣被害総合対策事業の効果、経営の厳しい水道事業における「水道ビジョン」「経営戦略」の見直しの取り組み方などでした。

10月7日の全体会では、ふるさと南丹応援基金積み立てを見直し、くらしの予算とすることについて国民



健康保険事業特別会計が当初予算に比べ6500万円減額となったことについてのなどの総括質疑がありました。

各分科長の審査報告の後、討論はなく表決に入り、一般会計と国民健康保険事業特別会計の決算は賛成多数で、その他の5会計は賛成全員で認定されました。

本委員会の審査過程で各委員から出された指摘や意見については、適正に対応され、次年度の予算編成において、十分に反映されるよう強く望むものです。

経常収支比率上昇への対策は

Q 人件費のアップ、公債費の増加等、今後も経常収支比率の上昇が懸念されるが、抑制するための対策や工夫は。

A 人件費、公債費は確かに大きく影響を受けるが、もう一つの要素である物件費については、公共施設を減らすことで抑え、そのことで、管理に係る人件費も減らせると考えている。

地方交付税の状況は

Q 地方交付税の今年度決算額が4年度と比較して、1億3210万6千円の減となっている。その主な要因は。

A 公債費の算入額が減ってきていることが一番の要因。今後の公債費は、合併特別債の借入もあるが、全体的には減少し、その分交

付税は減っていく。また、来年度の国勢調査で人口が減ることで、さらに減っていく可能性がある。

CATV事業の民間移管の影響は

Q KCNなんたんへの民間移管に伴う、5年度の支払額と効果は。

A 自主番組の放送委託料として1320万円、アンテナの撤去費含めて合計2496万1040円を支出している。民営化によって経費の削減となり、大きな効果があった。



KCNなんたん

文教厚生 分科会

介護人材確保・定着支援事業

Q 人材確保のために家賃、奨学金返済額の一部を助成すると計画されていた。目的が達成されていない状況と原因は。

A 介護人材が不足する中、4年7月に制度を設けたが、希望者がなかった。補助金要綱は、正職員が対象である。要綱に合わず、申請がなかった。要綱を再検討する。

給食食材の地産地消の状況は

Q 地産地消率の算出方法は。

A 府の食育推進計画に基づいて、府内産と市内産を金額ベースで算出している。目標値は30%。5年度は4調理場の平均で、府内産が26.1%、市内産に限定すると22.2%となっている。

動物愛護事業

Q 猫の避妊去勢手術につい



市内産の食材を活用している給食調理場

て、一匹当たりの補助額と申請件数の推移は。

A 一匹当たり6千円で92件であった。6年度はすでに100件程度になっている。

部活動地域移行整備事業

Q 少子化を見据え、合同チームで活動されたと聞くが、その実績は。

A 複数校で合同チームを構成し、野球部やサッカー部において合同練習を3回実施した。

産業建設 分科会

環境保全型農業直接支払交付金

Q 交付金支払い対象の4組織は、有機JAS認定を取得済みか。

A 国の要綱では、有機農業は有機JAS認定の取得を求めている。栽培計画や記録を提出いただき、審査のうえ交付している。

南丹ブランド推進助成事業

Q 2団体への補助は、ブランド製品の普及・定着とどう関連するか。

A 園部の若中神輿会は、みこしの担ぎ手の法被を作られた。園部地域のみこしは、小出氏や園部城と関りが深く、国内外に広めるようなブランド化を図りたい。また、食育レシピコンテストの実行委員会は、子供たちが考案したものをプロの手で商品化し、広める意味でブランドと理解している。



6年3月に策定された「南丹市水道事業ビジョン」

Pick Up!

4

高齢者を対象とした新型コロナ予防接種

65歳以上の高齢者と、60歳から64歳の制度に該当する障害を有する希望者を対象に実施します。前回までの集団接種と異なり個別接種となります。自己負担は、3,000円です。



ワクチンの個別接種

Pick Up!

5

美山虹の湖交流センター条例の制定

南丹市大野地域活性化センター（旧大野小学校）の指定管理期間が本年度末で終了することを受け、地元大野振興会が市への返還を決定されました。新たに「南丹市美山虹の湖交流センター」に名称が変わります。



活用が期待される美山虹の湖交流センター

Pick Up!

6

情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

行政手続き等に係る利便性の向上や、行政運営の効率化を図るため、これまで書面等により行われてきた申請等について、オンラインでの申請が可能となるよう環境を整えていきます。



オンラインで利便性の向上を

Pick Up!

7

消防団員の定数変更

消防団員の確保が困難なことと併せ、今後、団員の増加が見込めないことなどから、消防団員の定数が「1550人以内」から「1300人以内」に変更されます。



消防団の一斉放水

9月議会では こんなことが 決まりました

会期 8月27日～10月9日

◆ 議案・・・・・・・・ 27件

議会が注目した主な事業

今号では、この中から次の7つをピックアップします。

Pick Up!

1

南丹市手数料徴収条例の一部改正

令和7年1月、住民票の写し・印鑑登録証明書の発行ができる多機能端末機を市役所本庁に設置します。コンビニに設置されている端末での発行も含め、手数料が300円から150円に改正されます。



多機能端末機が設置される本庁窓口

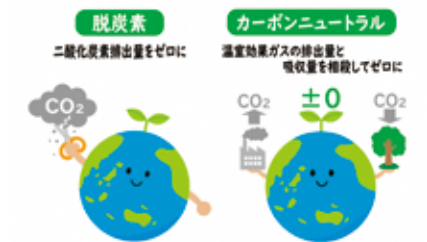
Pick Up!

2

地域脱炭素重点対策加速化事業補助金

※ 2050年ゼロカーボンシティを実現するため、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用し、太陽光発電設備、蓄電設備等の設置に対し補助を行います。

※2050年ゼロカーボンシティとは
2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す自治体のこと。



ゼロカーボンシティを目指して

Pick Up!

3

日吉生涯学習センター大規模改修

平成15年に建築された当該施設は、経年劣化により、雨漏りや各種設備の不具合が発生しているため、屋根・外壁改修、冷暖房設備改修、照明のLED化、駐車場整備などの大規模改修工事を行います。



改修予定の日吉生涯学習センター



常任委員会では、 こんな議論になりました

〈主な質疑のみ掲載しています。〉



**新たに
議会活性化対策特別委員会を
設置しました。**



特別委員会とは？

市政の特定の事件について、必要に応じて議会の議決で設置される委員会
で、その事件の審査や調査が終われば消滅するものです。

今回設置した特別委員会の詳細は、P27をご覧ください。

文教厚生 常任委員会

Q 新型コロナウイルス予防接種定期接種
で行われるのか。

A 前回までの集団接種と異なり、重症化予防などを目的に実施する。委託医療機関での個別接種となり、船井医師会と契約している医療機関と、府の広域予防接種実施機関で実施する。

Q 財政健全化の中で、事業に取り組む背景や狙いは。

A 環境省の重点対策加速化事業に採択され、6年度から10年度までの5ヶ年で取り組むもので、国が8億円、市が4・5億円を負担する大型事業である。近年は、地球温暖化で、これまでと違った気候変動となっている。脱炭素だけでなく、防災も兼ねた地域循環を考えている。事業の内



木質バイオマスボイラー導入予定のスプリングスひよし

容は、本庁舎への太陽光パネルの設置や、スプリングスひよしへの木質バイオマスボイラーの導入などを予定している。

総務 常任委員会

電子申請等オンライン申請の活用

Q さまざまな申請があるが、全般的に申請書類を電子申請にしていけることか。

A 条例により書面で提出しなければならぬ住民票や税の証明などにこの電子申請を取り入れ、今後はいろいろな分野に活用していきたい。

南丹市過疎地域持続的発展市町村計画の変更

Q 今回誘致する（仮）第二南丹のぞみ園」の建設に関わる補助金や過疎債等を活用していくための計画変更か。

A 今後の民間誘致と開設支援、公立施設の認定こども園への移行を含めた計画変更になっている。

産業建設 常任委員会

担い手養成実践農場整備支援事業補助金

Q 補助事業の詳細は。

A 1名の実践農場対象者に、トラクターと管理機の補助を実施した。

森林環境基金積立金

Q 増額補正の詳細は。

A 積立金6047万8千円の内訳は、5年度の未執行分が3867万1260円、6年度の事業執行の残額が2178万740円、基金の運用利子が2万6千円の合計額である。5年度分については、執行できなかった分をそのまま全額積み立てた。6年度についても、増額分をそのまま積立金とするが、各森林組合に選定箇所の候補を意向調査している。今年度から、森林環境譲与税は満額配当になっているので、できるだけ積み立てを減らしていきたいと考えて

財政健全化を目指すなかでの脱炭素事業

Q 脱炭素の事業は、5年間で一般財源を4・5億円投入する大型の事業だが、財政健全化に取り組む時期に実施する影響はどのように考えるか。

A 非常に大きな額と認識しているが、本事業は必要な事業だと捉えている。



幼保連携型認定こども園 南丹のぞみ園



管理者が変更された、かやぶきの里公衆トイレ

ている。

事業者の変更による保守点検管理委託料の増額

Q かやぶきの里公衆トイレの管理を委託していた事業者が、受託を断念された大きな理由は。

A 人員不足のために事業の規模を縮小されたためである。トラブルの際は、新たな事業者が即時に対応している。

■ 6年度南丹市一般会計補正予算(第2号)

賛成

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

環境計画推進事業の地域脱炭素重点対策加速化事業の周知と啓発、環境審議会との連携、対応する部署の人手不足、ソーラーパネル廃棄処分に要する手続きや補助金の手当てまで目配りをするなど、遠い将来を見越し説得力を持った施策内容にしていくことを求める。

■ 5年度南丹市一般会計歳入歳出決算認定

反対

日本共産党議員団 小林 毅 議員

①市民生活に大ナタを振るう財政健全化プランには賛成できない。②本市の職員体制は、正規職員358人・非正規職員395人。正職員は業務多忙に追われ会計年度任用職員が低賃金と不安定雇用の中で市政を支えている。是正が必要だ。③新庁舎備品の大阪のメーカー発注、八木バイオセンターへの2億3千万円の巨費投入を問題点として指摘する。

賛成

活緑クラブ 若井 睦巳 議員

5年度一般会計歳入歳出決算は、以下の3点において評価できる。

1点目は、将来の南丹市を担う子どもたちのために多くの施策が実施されていること。2点目は、子どもだけでなく、高齢者や障がいのある方を含む全ての市民が安心・安全に暮らせるまちづくりを進めていること。3点目は、将来を見据えた種まきをしていること。

■ 5年度南丹市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

反対

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

診療所における外来診療減収の要因として人口減少があげられた。外来収入を過去と比較すると、減少幅の増加は加速している。後期高齢者以外の国保や社会保険の加入者でも減少額が多くなっており、人口の減少だけでは説明できない。住民から遠ざかっている診療所の体制と運営に、根本的な見直しが必要である。

討 論



討論とは？

議会の討論とは、お互いに議論を交わし合うことではなく、自らの意見を表明し、賛否の理由を述べることにより自分の意見に同調することを他の議員に求めることです。

※記事は原則として各議員から提出された原稿を掲載しています。

■ 南丹市手数料徴収条例の一部改正について

反対

新風会 塩貝 孝之 議員

今回の提案は、多機能端末機を本庁のみに設置し、端末による各種証明書の発行手数料の値下げをしようとするもの。DX化の推進により行政の弱点を補完するならば、まずは各支所設置を進めるべきであり、また、手数料値下げも容認できない。人口減少や過疎化によるサービス低下を懸念するならば、支所におけるDX化の推進を最優先すべきである。

反対

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

マイナンバーカードの利用促進のために多機能端末機を使った証明書発行の手数料を半額にするというものであるが、この方法で証明書を発行すると手数料収入は大幅な減額となる。利用できる地域が限定的であり、地域住民感情を考慮すると賛成できない。

反対

つなぐ 山下 秋則 議員

多機能端末機を本庁舎に設置し、住民票等の交付手数料300円をコンビニでの交付も併せ半額にしようとするものであるが、発行経費を大幅に下回るうえ、府内市町の約8割が引き下げていない中、150円は大幅で、財政健全化プランとも整合せず、厳しい財政状況では再検討が必要。また、コンビニの少ない日吉・美山地域の利便性向上も併せて検討すべき。

■ 南丹市手数料徴収条例の一部改正

■ 南丹市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

賛成

新誠会 樋口 浩之 議員

両議案が推進するDXは広大な面積を持つ本市の課題である地理的な問題を克服することを可能にし、本市喫緊の課題である財政健全化にとっても不可欠である。責任を持って本市を未来へと受け渡していくためにも今議会でも本市のDXを足踏みさせるようなことがあってはならない。以上の理由から議案79号及び80号に対し賛成する。

賛成全員で可決した議案

区分	件名	結果
議案	南丹市美山虹の湖交流センター条例の制定	可決
	南丹市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定	
	南丹市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	
	6年度（債務負担）南丹市日吉生涯学習センター改修工事請負契約	
	南丹市過疎地域持続的発展市町村計画の変更	
	6年度南丹市一般会計補正予算（第2号）	
	6年度南丹市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
	6年度南丹市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	
	6年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	
	5年度南丹市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
	南丹市国民健康保険条例の一部改正	
	6年度南丹市一般会計補正予算（第3号）	
	5年度南丹市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
	5年度南丹市土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定	
	5年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	
	5年度南丹市水道事業会計決算認定	
	5年度南丹市下水道事業会計決算認定	同意
	南丹市自治功労者の表彰につき同意を求めること（3件）	
意見書	有害鳥獣被害対策の法令整備を求める意見書（案）	可決
	有害鳥獣被害対策の強化を求める意見書（案）	

賛否の分かれた議案

〈○は賛成 ×は反対〉

会 派 名		つ な ぐ					新誠会			活緑クラブ			日本共産党 議 員 団	公明党	新風会						
議員名		谷尻 宣雄	小中 昭	吉田 尋子	山下 秋則	谷尻 昌史	前田 義明	仲村 学	西村 好高	堤 博明	樋口 浩之	八木 信樹	若井 睦巳	村山 好明	下間 康広	小林 啓介	河野 聖治	平田 徳吉	木戸 孝之	塩 田 裕	
案件・結果																					
南丹市手数料徴収条例の一部改正		可決	○	○	×	×	議長のため 採決に加わりません。	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
5年度南丹市一般会計歳入歳出決算認定		認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
5年度南丹市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定		認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
特別委員会の設置		可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
南丹市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定		否決	○	○	○	○		×	×	×	×	×	退席	×	×	退席	×	×	○	○	×

特別委員会の設置

反対

日本共産党議員団 小林 毅 議員

①特別委員会は特定の問題について集中的な審議をするために設置されるもの。何でも決められるような目的の付与は、法や条例の趣旨に適合するのかどうか疑念がある。
②議員定数に関する調査が付議されているが、来年6月議会までには結論を得ることが求められる。時間的にも無理があり強行すれば拙速で誤った結論を導く危険性がある。

南丹市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定

反対

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

財政に与える影響は極めて乏しく、「財政健全化プラン」の考え方に基づいた市民に新たな負担を求めることを是認し、市民住民にマイナスのメッセージを発することになる。

反対

新誠会 西村 好高 議員

パフォーマンス的な安易な考えの議案である。本市の財政状況が厳しいことは承知しているが、この削減が財政健全化に資するとは思えない。今期だけの削減としているが次期に対してバイアスが掛かり、逆に若い世代の立候補を妨げることになる。提案者は当初予算で財政健全化に消極的だった印象があり、それを払拭するための議案と感じる。

賛成

つなぐ 山下 秋則 議員

議長・副議長・議員の月額報酬を任期満了までの15カ月間、5%削減しようとするものであり、市の財政健全化プランによる市民負担増を考慮し、議員自ら報酬削減を行い、市民の代表としての責任を果たすとともに、今後一層、市民の負担増加が見込まれることについて、執行部に対ししっかりと議論していくことが重要と考える。

Q 本市の特産品を内外へPRできるイベントを

A 関係者の協力を得ながら取り組んでいきたい



美山川の鮎

新風会 しおがい 塩貝 孝之 議員



Q 本市の鮎をもっとPRすることで魅力が増大するのではないかと、美山川、大堰川ともに大変質が高く、鮎は本市の特産品である。5月に東京都庁であった鮎の催しに行ってきたが、飛ぶように売れて大きなPRができた。ふるさと納税ですでに鮎関係の返礼品も出品しているが、さらには生の鮎を冷蔵や冷凍で商品化できる取り組みを進めている。本市の鮎をPRして、何とかブランドづくりをしながら、この時期には鮎を食べるということ、幅広い市民、国民の皆さんに習慣化

その他の質問

・市有地の譲渡について

Q より効果的な子育て支援を展開すべきでは

A 人口流入につながる総合的な施策が必要



出産・子育てに寄り添う「はぐくみファイル」

つなぐ よしだ ひろこ 吉田 尋子 議員



Q 出産・子育て応援ギフトの現状と効果は。A 妊娠・出産期に5万円分の商品券を給付する経済的支援とともに、面談による相談等で不安に寄り添う支援ができています。Q 18歳までの医療費助成制度の現状は。A 以前は本市の制度は先進的であったが、他自治体が無償化を進めており、特色が薄れている。制度を再構築する時期が近づいている。Q 第1子5万円、第2子10万円、第3子以降に20万円支給する子育て祝い金の効果は。A 5年度の支給実績

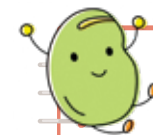
その他の質問

・日吉生涯学習センター「遊youひよし」について

は、第1子が48人、第2子が53人、第3子以降が38人。出生数は、平成30年度の207人から5年度の137人まで年々減少。人口減少や少子化の改善に明らかな効果があつたとは言えない。Q 一時的でなく、継続的な支援の充実が必要。今後の支援の方針は。A 既存施策の効果の評価や財源確保を考慮し、子どもの医療費負担や学校給食費の軽減、無償化など新たな事業を検討することが重要。人口流入対策の観点から総合的な施策を打ち出す必要がある。

3日間16人の

一般質問



市議会の豆ちしき

傍聴席が変わりました

本会議場の傍聴席に、車いす利用者やその介助者、補助犬のための専用席を設けました。どなたでも傍聴しやすい環境づくりを進めています。ぜひ一度、傍聴へお越しください。



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長等に対して質問を行います。(P16～24の記事は各議員から提出された原稿を質問順に掲載しています。)

動画視聴できます！

市議会ホームページの「議会映像配信」にアクセスするか、スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ってご覧ください。



Q 新幹線延伸計画へ踏み込んだ態度表明を

A 情報不足で判断不能だが、このままでは不信に



新幹線予定コース周辺の風景

日本共産党議員団 こうの けいすけ 河野 啓介 議員



Q 北陸新幹線小浜京都ルートについて。国土交通省が、詳細駅位置・ルート図を発表した。事業費は当初予算から2倍以上の最大5兆円、工期も最長28年に延び、計画の前提が大きく崩れている。府山間部のトンネル縦断面図もなく、深度や河川水系との関係が不明。公共事業の効率化を図るための費用便益分析も先送りした。工事に伴う里山の景観破壊や地下水に与える悪影響への懸念が根強く、環境影響評価など手続も進んでいない。松井京都市長は、現時点では極めて慎重な判断をすると述べた。西

その他の質問

・特別支援教育について

田昌司与党整備委員長は、延伸の目的は東海道新幹線に代わって東京・大阪ラインをつくるという代替機能の確保で、国土強靱化という国策だと言うが、これは緊急時の支援や物資輸送で鍵になるのは道路や空路、貨物列車が走る在来線であり、現実を無視した話である。踏み込んだ態度表明を求める。A 小出しに計画が出され、判断する材料が示されず、答えようがない。ボーリングに協力したが、その情報公開もされない。このままでは不安が不信につながる。

Q 美山文化ホール、代替施設が必要ではないか

A 美山地域の文化活動拠点の方策を考えている



美山文化ホール（ホール棟）

公明党 木戸 徳吉 議員



Q 美山文化ホール（ホール棟）の現在の状況について新聞報道もあった。設備の故障等があり、使用できないのであれば代替施設が必要と考えるが。

A ホール棟については不具合が重なっており維持管理の継続は難しい。美山地域の文化活動拠点としての代替施設は必要と考えている。

南海トラフ地震臨時情報を受けての対策を

Q 8月8日に震度6弱の地震が発生して、南海トラフ地震臨時情報が出されたが、本市の取り組みは。

その他の質問

・財政健全化プランについて

Q 園部町土地改良区の農家負担金軽減へ指導を

A 監督は府 総会で承認されているものである



市役所地内にある園部町土地改良区事務所

日本共産党議員団 小林 つよき 議員



Q 美山・日吉には土地改良区は存在しないが、土地改良事業は施工され事業も行われている。園部町土地改良区は10ア当たり600円、毎年450万円余の賦課金を徴収しており農家の方からは、「何とかならないものか」という相談が来ている。4年度決算で486万円の余剰金が出ており、6年度の事業費予算額は518万円、積立金は8千万円を超えている。農家賦課金を取り続けなければならない合理的理由は見当たらない。農家負担軽減へ市長の適切な指導を求めたい。

その他の質問

・園部町栄町に誘致する子ども園への財政負担
・誘致する子ども園の立地条件はどうか
・園部の公立保育の存続・充実を求める
・熱中症から命を守る対策の予算化を要望する

Q 鳥獣被害についての認識は

A 死活問題で、担い手不足が懸念される

新誠会 つつみ 堤 ひろあき 議員



Q アライグマについて、捕獲おりの貸し出しを行っている。他の動物も入ることがあり、ハクビシンもアライグマ同様の被害が出ており、捕獲対象として被害軽減に努めるべきと考えるが。

A 小動物について以前から同様の意見が出ており検討中で、今後関係機関と相談の上、本格的に進めていきたい。

Q アライグマ等の捕獲に報奨金制度を導入している自治体があり、被害が軽減されている。本市も報奨金制度を創設してはどうか。

A 他の自治体の状況を確認し、関係者と連携し検討していく課題と考える。



アライグマ用の捕獲おり

Q ラーケーション制度の導入を

A 児童生徒が平日に校外で自主活動を通し家庭や地域で体験や探究の学びができるよう制度を設けてはどうか。

A 現時点で需要としてはないので考えていない。今後は先進的な取り組みを注視していく。

Q この制度は観光需要を高め、地域経済の活性化が見込まれるが。

A 観光に有効な手段の一つと考える。

Q 上田医師が隔週で勤務されるが、今後の展望は

A 次年度以降については、勤務拡大で調整していく

活緑クラブ やぎ 八木 信樹 議員



Q 上田医師が9月から隔週勤務で働いていただけになったが、今後の南丹みやま診療所の医師体制の展望は。

A 次年度以降については、勤務拡大も調整していきたいと考えている。また、医師の皆さんと連携・協議しながら、今後の体制を整えていきたい。

企業用地確保に地域未来投資促進法の活用を

Q 会派活緑クラブの議員で経済産業省へ行き、本市で地域未来投資促進法が活用できることを教授いただいた。後日、担当者から

地域医療の継続に向けて新たな医師が南丹みやま診療所に赴任しました

その他の質問

・福祉医療費等の今後の方針について
・公益財団法人 八木町農業公社の今後について
・JR八木駅東口周辺整備について

連絡があり、本市の水資源の豊かさやインターチェンジの利便性、食品関連企業の企業立地、また地域企業や農業との連携など、すでにある地域資源や連携の基盤を生かしながら、今後の産業育成、産業立地につなげていくことが非常に重要なことと考え、今後の産業施策において経済産業省の地域未来投資促進法を活用しながら、見解は。

A 一定の要件が整い次第、行政的な手続きをアタックしていきたい。

Q 土地利用の柔軟性を図る積極的な規制緩和を

A ハードルが高く現行法律の中で柔軟に対応する

新誠会 面村 好高 議員



Q 6月議会の樋口議員の質問で、本市の本質的な課題は「土地の規制が非常に多く、思うようなまちづくりができない。土地利用の柔軟性が課題」と答弁されている。課題が明確であれば解決すべきであり具体的な解決策は、

A 本市の土地利用の規制は都市計画法、農地法など多岐にわたる。

線引きを廃止すれば土地利用の柔軟性が一気に進むことより、西脇知事に提案したが法律改正が必要であり非常にハードルが高いとの回答であった。現行法律の中で柔軟に対応していきたい。



地区計画が待たれる八木町室橋地区

A 府の対応に不信感がある。善処を求める。

Q 土地利用の柔軟性につながる市街化調整区域内での地区計画の策定は5年度中の予定であったが。

A 大変遅れている。府への最終の書類提出間際で追加の指摘が入り、やり直しになった。7年3月告示、7月に上程を予定している。

Q 計画策定完了まで5年間も要していることはあり得ない。亀岡市は同様の事業を約1年間で完了している。コンサルも入っている中で本気度が無いのでは。

A 府の対応に不信感がある。善処を求める。

Q 災害時の避難困難者への避難対策は

A 各組織との連携を強化し避難誘導を行っていく

活緑クラブ むらやま 村山 好明 議員



一時避難所となる胡麻基幹集落センター

Q 大きな災害が発生した場合、速やかな避難が必要である。高齢者等の避難困難者への対策は。

A 避難困難者への対応

Q 先般、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発令されたが、本市の対応及び課題は。

A 南海トラフ地震が発生すれば、今まで経験したことのない被害が予想される。万が一に備えて備蓄関係の確認を行うとともに、市民に注意喚起を行った。今後も災害に対する備えの発信が大事と考える。

Q 大きな災害が発生した場合、速やかな避難が必要である。高齢者等の避難困難者への対策は。

A 避難困難者への対応

その他の質問

- ・市職員の職場環境について
- ・交通弱者等への移動支援について

Q 国道 477 号の市への移管についての考えは

A 府と十分協議しながら対応する

つなぐ たにじり 谷尻 宣雄 議員



補修工事が進む大堰橋

Q 国道 477 号バイパスは平成 14 年度から府において取り組みをい

A 国道 477 号バイパスは、約 35 億円の非常に大きな事業費を費やし、4 年度に全線供用

開始された。バイパス工事完成後の現道の移管については、旧八木町時代から協議がされており、引き続き、移管に向けた整備条件などについて府と協議を進める。とりわけ大堰橋については、昭和 10 年に完成し、ゲルバースのデザインや設計的にも優れた橋であるが、非常に老朽化し、度々、塗装等のやり替えなどもしなければならぬ維持管理が大変な橋である。そのようなことから、橋の扱いも含めて府と十分協議し、お互いが納得できるように、今後の対応をしていく考えである。

その他の質問

- ・南丹市財政健全化プランについて

Q 壊れた駅広場のベンチなぜできない早期の復旧

A 選択枝として市で一旦直すことにするか詰める

つなぐ やました あきのり 秋則 議員



壊されてそのままになっているベンチ
早急の復旧が求められる

Q 園部駅東口タクシー乗場のベンチ等が壊れたままで、復旧もされず 8 月になるが。

A 1月に車が突っ込み

Q 壊れた状態をいつまでも放置すべきでない。早急に復旧すべきでは。

A 市民からは市の怠慢と思われるが、非常に残念な状況。辛抱にも限界があるので、期限を設け、復旧を求める。復旧されない場合、相手方に損害賠償請求を起こすか最終的に判断したい。

その他の質問

- ・JRの運行本数の回復に向けた取り組みについて
- ・園部駅の休憩等の場所・環境の整備について

断したい。市が復旧して、その費用を請求した場合、すべて回収できる保証はない。裁判を起こすとすると、弁護士費用は市の負担となる。何とか最後の通告で、原因者が動いてもらうことを待つのみ。

Q 利用者の不便は当然、景観上もこれ以上放置は許されない。一旦、市が施工して、その費用ほか損害を原因者に請求する。取りあえず一日も早く復旧していくことが必要では。

A 市で一旦直すことも選択肢であるが、弁護士とも協議し、最終的に詰めていきたい。

Q クマの出没が多い早期の駆除など対応を

A 市の有害鳥獣捕獲許可権限にクマはない



府所有のクマ専用捕獲おり

Q 9月から上田医師が隔週で夜間診療にあたっていたいただいているが、藤岡医師には五ヶ

つなぐ 小中 昭 議員

A 全国的に出没が多く人的被害も出ている。国や府にしっかり要望していく。

Q 今年はや早い時期からクマの出没情報が多い。環境省は4月にクマをシカやイノシシ同様の指定管理鳥獣に指定した。シカやイノシシのように市において許可できるよう要望すべき。

北陸新幹線延伸

Q 小浜ルートは美山町を通過する。地下水の枯渇や残土問題など課題は多い。京都市長は慎重姿勢を明らかにされたが市長はどうか。

A 府や京都市と連携していきたいが、もう少し時間をいただきたい。

Q JR園部駅周辺の有効活用について

A 先のイベントで将来に向かって可能性が見えた



JR園部駅西口広場

Q JR園部駅周辺の用途地域が工業系地域であることは、南丹市都市計画マスタープラン

A 駅が十分に生かしていないことについては、そのとおりである。

Q JR園部駅は通勤や通学の要所として多くの人々が行き来する場所であるが、過去から現在にわたり、有効に生かしているとは言えない。これは長期にわたる多大な機会損失であると考え、駅周辺の発展が停滞していることに、解決すべき課題と今後の展望は。

との間に齟齬^{そご}があると考え。用途地域の指定はまちづくりの方向性を定める舵であり、今後のまちづくりの方向性を示していく必要があると考える。

A 用途地域の指定については固定的なものとは考えていない。情勢が変われば変化があることは考えていける。

その他の質問

- ・地域の特色を活かす学習事業について

Q 猫に優しいまちづくりは今も目指しているのか

A 今後も行っていく予定である



保護した子猫

Q 猫の避妊・去勢手術補助事業に対し、市民はどの程度理解していると考えるか。

A 人と猫が共生できるまちづくりの実現に向けて、住民の皆さんの理解と協力の下に、地域が一丸となって取り組むことが重要であるので、十分な理解が得られることが前提だ。一定の皆さん方には理解いただいているが、さらに周知徹底、広報などが必要であると考え。まだ道のりは長い。少しずつ浸透させていきたいと考える。

A 「にゃんたん市プロジェクト」の一環として、市内の飼い主のいない猫の増加を防止したり、不幸な猫を減らすために、5年7月に猫の避妊去勢手術の補助制度を創立したが、昨年度は92件の申請があり、本年度も8月末の時点で、105件という申請があった。この事業に関しては申請の件数は増えており、事務手続に多くの書類と時間を要しているが、野良猫を増やさず、良好な生活環境を確保するためには、当面実施していく予定である。

その他の質問

- ・全国都市緑化フェアについて
- ・駅またはその周辺で電車を待つための施設について

Q 健康保険証がマイナ保険証にかわるのか

A 現行の健康保険証は来年の7月までは有効



健康保険証の機能が付与されるマイナンバーカード(見本)

Q 現行の健康保険証の発行が本年12月2日に終了し、マイナンバーカードを健康保険証として利用することになる。広報等による住民への正しい情報発信が必要だと考えるが。

A 市民課で担当する国民健康保険証および後期高齢者医療被保険者証については、これまで、一斉更新により、1年証を年1回発行していた。今年の12月からは現行のものは発行されなくなるが、今お持ちの保険証は来年の7月までは有効である。12月2日以降、

マイナ保険証をお持ちでない方には、発行済み保険証の期限が切れる来年の7月31日までに保険証のかわりとなる「資格確認書」を交付する。決して医療を受けられないということではなく、引き続き必要な医療は受けることができる。マイナ保険証については、本市としても普及に努めることが必要であり、マイナ保険証として利用するための登録方法やカードの利便性を被保険者に周知するためのチラシを作成し、保険証の一斉更新時に同封することを考えている。

その他の質問

- ・女性防災担当職員および女性・子ども・高齢者の備蓄用品について

総務 常任委員会

8月6日 所管事務調査を実施

最初に総務課から小学校跡施設利用の方向性と7年度以降の対応について全体的な説明を受けたあと、指定管理施設になっている小学校跡施設の西本梅地域活性化センター、吉富地域活性化センター、新庄地域活性化センターの3施設を視察しました。現在、おおむね10年が経過することから、市より7年度以降の対応について、今後の方針（施設譲渡・一部譲渡・市に返却）を求められています。

そこで、小学校跡施設の今後の利活用について、指定管理をされている振興会、運営委員会ではどのよ



吉富地域活性化センターでの調査状況

うに考えておられるか、現時点での率直な思いを伺うこととしました。それぞれの施設において、さまざまなご意見を聞かせていただきました。今後、委員会としてどのような対応ができるのか、検討していきます。その他の小学校跡施設についても引き続き、調査を行います。

委員会活動報告

文教厚生 常任委員会

7月17日 所管事務調査を実施

はじめに、園部学校給食共同調理場と八木学校給食共同調理場の作業状況を視察し、意見交換をしました。施設では、出勤時に職員の体調確認を実施し、食品衛生に関しても徹底した管理が行われており、安全な給食を届けるため努力されています。

3月末に場所を移転して開設された八木せきれい西放課後児童クラブ施設を視察しました。2階建ての室内の一部には、府内産の木材を使用するなど、子どもたちが快適に勉強や自由時間を過ごせる部屋が設けられており、安心安全な施設でした。

船井郡衛生管理組合では、業務に関して説明を受けた後、各施設を視察しました。京都中部クリーンセ



老朽化が進んでいる京都中部クリーンセンター

ンター（ごみ処理施設）では、老朽化が進んでいる状態であり、今後の施設の維持管理について検討が進められています。あわせて、積替え保管施設と新火葬場建設予定地を視察し、事業の進捗状況などを確認しました。

Q 期限を迎える指定管理施設の今後の方向性は A 民間誘致・基本理念を軸に施設活用をめざす



議員 康広 下間 活緑クラブ

Q 指定管理施設は、今まで地元振興会が拠点として活動され、地域振興に大きく寄与されている。今後の地域振興にブレーキをかける結果にならないか。
A 旧小学校施設を利用しさまざまな取り組みをしていたらいい。しかし、あまりにも大きな施設は、老朽化も進み、市として管理していくのは非常に困難である。ただ、地域活動にストップをかけるということではない。今まで積み上げていただいた地域の活性化や活動をさらに発展させてほしい。



指定管理期限を迎える地域振興団体が管理する施設

でいただいている団体の活動拠点がなくなる事態にならないか。
A 他市を見ると一旦閉めて今後を考える事例があり、一日も空けずに次の段階への移行は考えにくい。現状規模と同じことは恐らくできないとは思いますが、今後も地元と協議を続けていく。一つの解決案としてはサウンディング調査を行う際に、施設の一部地域利用を許容してもらえよう。地域貢献活動に理解のある民間企業に来ていただき、共に利用していただけるのが理想ではないかと考えている。

その他の質問

- ・規制解除について
- ・解除箇所のフォローについて

意見書とは？

国が行うべき施策や事業について、南丹市議会としての意思を意見としてまとめた文書で、関係省庁や国会等に提出することができます。意見書は、市民の皆さんからの要請や議員の提案に基づき検討し、南丹市議会として調整ができたものを提出しています。

◆有害鳥獣被害対策の法令整備を求める意見書（国に提出）

〈要望事項〉

- 1 野生鳥獣等による農林業被害を防止するとともに市民の安心安全な生活を守るため、鳥獣被害防止対策の一層の拡充を図るとともに、地方自治体が行う地域の実情に応じた鳥獣害防止施策に対する財政支援を充実すること。
- 2 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第38条における銃猟の禁止事項について、クマ等の出没時等、生命と財産に危険を及ぼす場合等においては、知事もしくは市町村長の判断によることに法律改正すること。
- 3 クマ出没時における、警察官職務執行法第4条第1項（避難等の措置）、もしくは刑法第37条第1項（緊急避難）の適用を、住宅街や集落に出没した時点で駆除が実施できるよう法整備すること。
- 4 罠猟における狩猟免許を対象動物ごとに見直し、小動物対象の免許を新設すること。

◆有害鳥獣被害対策の強化を求める意見書（府に提出）

〈要望事項〉

- 1 野生鳥獣等による農林業被害を防止するとともに市民の安心安全な生活を守るため、鳥獣被害防止対策の一層の拡充を図るとともに、本市が行う地域の実情に応じた鳥獣害防止施策に対する財政支援を充実すること。
- 2 銃器による有害鳥獣捕獲許可にツキノワグマを加えること。
- 3 ツキノワグマ等が住宅街に出没した場合における警察官職務執行法第4条第1項（避難等の措置）を適用した対応について、迅速、柔軟な対応ができるよう、関係機関との連携強化を図ること。
- 4 第13次鳥獣保護管理事業計画における、銃器による捕獲期間を定めることなく、市町村の現状にあわせた柔軟な対応すること。

7月24日 福岡県朝倉市
議会運営委員会の行政視察
を受けました。

「出前でおしゃべり青空
議会」について質疑・意見
交換を行いました。議会が
外に出ていくことに関し
て、皆さん興味を持たれて
いました。また、要望や意
見を聴いた後の対応につい
ての質問があり、内容によ



り分類し、各常任委員会にそ
の対応は任せていることを
説明しました。

その他、議会報告会や議
員間討議についても意見交
換を行いました。

短い時間ではありましたが、
こちらも気づきを得ら
れるところもあり、大変有
意義な時間でした。



議会活性化対策特別委員会を設置しました

議会の改革及び活性化に関する調査をはじめ、これからの南丹市議会のあり方について調査するため特別委員会を設置しました。

設置の目的

- 議会の改革及び活性化に関する調査
- 議員定数、議員報酬に関する調査
- 通年議会に関する調査
- 議会選出の監査委員に関する調査
- 議会基本条例の検証



委員

委員長／西村好高

副委員長／小中 昭

委員／堤 博明 河野啓介 木戸徳吉 下間康広 塩貝孝之 谷尻宣雄

人事案件（敬称略）

議案番号順

自治功労者

小林 全弘（園部町）
林 昭男（美山町）
梅津 義明（美山町）

人権擁護委員

九笹 智資（美山町）

陳情書

次の陳情を受理しました。

■ケア労働者の持続的な賃上げと人員確保の保障を国に求める意見書提出に関する陳情

京都医療介護労働組合連合会執行委員長 勝野 由起恵

■母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

張 一文

第2回

なんたん

未来会議

8月20日、「第2回
なんたん未来会議」を
開催しました。この事
業は16歳（高校1年
生）〜22歳の市内在住
者及び通勤通学者を対
象に、昨年から実施し
ています。市が抱える
課題の解決や未来像に
ついて若い世代のアイ
デアを生かし議論を深
めました。

市長と語る

う私たちの

まちづくり

8月22日は、市議会
も参加して、市内小中
学生の各校代表による
「市長と語ろう私たち
のまちづくり」が開催
されました。
市の課題や魅力につ
いて活発な発表が行わ
れました。

出前で

おしゃべり

青空議会

8月24日は、胡麻の
夏まつりで「第5回出
前でおしゃべり青空議
会」を開催しました。
来場者の皆さまと多様
な意見を交換すること
ができました。



